

# 女性のための相談強化等事業【愛媛県松山市】

## 地域の実情と課題

- ・市内の大学・専門学校の大半が市内にあり、リモート授業などで孤独・孤立を抱えやすい状況となった**学生が多く存在している**。また、四国最大規模である繁華街を擁し、飲食業やサービス業で働く**女性が解雇や減収等の影響を受けやすい状況にあった**。
- ・既存の電話や対面相談では、40代以上の利用が圧倒的に多く、**若い方の声を拾えていなかった**。
- ・夜間や休日に相談を受け付けているところが少なく、仕事をされている方や、学校や育児等で日中時間が取れない方は**相談しにくい状況だった**。

## 事業の特徴

- ・女性相談では、まだ全国的にも珍しい**LINE相談を導入した**。
- ・相談時間を夜間(18:00~22:00)に設定し、平日だけでなく**日曜日も相談を受け付けた**。(日・月・木の週3日)
- ・生理用品は、NPOの知見やネットワークを活かし、子ども食堂、大学、マザーズハローワークなど様々な場所で配付した。

## 事業の効果

- ・LINE相談を多くの方に利用していただくため、広報活動に力を入れた。特にインターネットやSNS広告に注力したところ、LINE広告が最も効果があり、**友だち登録者数は1645人となった**。
- ・利用者からは、「こんなこと今まで誰にも話せなかった」「電話や面談の時間は取れないが、LINEなら育児しながらでもできるから助かる」などの声が多く、LINE相談という特性を生かすことで、これまで行政等の相談を利用していなかった方と繋がることになった。

## 目的・目標

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、望まない孤独・孤立、急な解雇等で様々な困難や課題を抱える女性に対して、相談体制を強化する。  
【数値目標：相談件数1,000件】(実績241件)
- ・市有施設の相談窓口等で、必要な人に生理用品を提供することを契機に相談を促し、不安を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりを回復することができるよう適切な支援機関に繋げていく。  
【数値目標：配付数3,000個】(達成)

## 連携団体

- ・「愛媛県女性相談支援事業相談機関等連携会議」に参加。
- ・女性相談に関する情報交換をするとともに、生理用品の配付先開拓もできた。  
【メンバー】NPO団体、県・市男女共同参画センター、ハローワーク、労働局、県・市の関係各課 合計約20名

## 今後の課題

- ・コロナの影響が長引いていることから、様々な困難や課題を抱える女性の苦境が長引いたり、またさらに増えたりする可能性がある。
- ・本事業は今年度で終了するが、今後も他のSNS相談や、身近な電話・対面相談などを広く周知し、引き続き一人でも多くの方が必要な支援に繋がることができるよう寄り添った対応をしていく必要がある。

## 事業の概要

### 1. 相談窓口強化事業

「まつやま女性ほっとLINE」を新規開設

- 女性に関するあらゆる悩みを受付
- 日・月・木の18:00～22:00
- 相談員2～3名で対応

### 2. 広報事業及び生理用品等の提供事業

- インターネット広告、SNS広告、市HP、広報紙、テレビ、ラジオ、民間情報紙等で相談窓口の案内
- 案内カード・チラシ作成
- LINE相談用のQRコードや、その他支援機関の情報を掲載
- 生理用品の提供 / 配布数: 3,000セット

生理用品  
可愛く梱包しました

